



瑞産都收第1854号  
平成20年10月23日

国土交通省道路局長様

瑞穂町長 石塚 幸右衛門



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

標記の件につきまして、下記のとおり要望させていただきますので、よろしくお取り計らい願います。

記

提出書類 様式①・②・③・・・・・・各1部

連絡先

瑞穂町 産業建設部 都市計画課  
電話 042-557-0599  
Fax 042-556-3401  
[toshikei@town.mizuho.tokyo.jp](mailto:toshikei@town.mizuho.tokyo.jp)

今後の道路行政についての意見・提案

様式①  
東京都瑞穂町

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など  
道路特定財源の一部一般財源化の方針の中にあっても、社会の活力維持に資する道路建設は必要です。徹底した無駄の排除は当然としても必要性を十分検討し、重点化した道路整備を望みます。

今後の道路行政についての意見・提案  
②-1 地域の現状と抱える課題

○現状	○課題	○現状	○課題
<p>①道路には人や物の流通に資する幹線道路のほか、住民の生活に密着した生活道路まで種々の形態があります。このうち、子供達が通う学校周辺の道路に道路とすべきで、児童生徒の交通安全に対する考慮を十分に行なうことは、特に児童生徒の交通安全を確保するべきです。</p>	<p>①児童生徒が通う学校周辺道路では、歩行者の安全を確保するべく道路狭窄、蛇行、ハンドブレーキ等の設置等交通誘導を強く望みます。</p>	<p>②首都圏中央連絡道路（圏央道）の青梅IC以南も平成14年3月より開通し、一般国道の遠距離移動の車両通過が少くなり我町の中央を通過する国道16号の混雑緩和も図られてきました。</p>	<p>②青梅ICの出口料金所付近には「瑞穂町」の看板表示はあります。本線上のIC案内看板に「瑞穂町」の表示を望みます。</p>

○現状	○課題	○現状	○課題
<p>①道路には人や物の流通に資する幹線道路のほか、住民の生活に密着した生活道路まで種々の形態があります。このうち、子供達が通う学校周辺の道路に道路とすべきで、児童生徒の交通安全に対する考慮を十分に行なうことは、特に児童生徒の交通安全を確保するべきです。</p>	<p>①児童生徒が通う学校周辺道路では、歩行者の安全を確保するべく道路狭窄、蛇行、ハンドブレーキ等の設置等交通誘導を強く望みます。</p>	<p>②首都圏中央連絡道路（圏央道）の青梅IC以南も平成14年3月より開通し、一般国道の遠距離移動の車両通過が少なり我町の中央を通過する国道16号の混雑緩和も図られてきました。</p>	<p>②青梅ICの出口料金所付近には「瑞穂町」の看板表示はあります。本線上のIC案内看板に「瑞穂町」の表示を望みます。</p>

○現状	○課題	○現状	○課題
<p>①道路には人や物の流通に資する幹線道路のほか、住民の生活に密着した生活道路まで種々の形態があります。このうち、子供達が通う学校周辺の道路に道路とすべきで、児童生徒の交通安全に対する考慮を十分に行なうことは、特に児童生徒の交通安全を確保するべきです。</p>	<p>①児童生徒が通う学校周辺道路では、歩行者の安全を確保するべく道路狭窄、蛇行、ハンドブレーキ等の設置等交通誘導を強く望みます。</p>	<p>②首都圏中央連絡道路（圏央道）の青梅IC以南も平成14年3月より開通し、一般国道の遠距離移動の車両通過が少なり我町の中央を通過する国道16号の混雑緩和も図られてきました。</p>	<p>②青梅ICの出口料金所付近には「瑞穂町」の看板表示はあります。本線上のIC案内看板に「瑞穂町」の表示を望みます。</p>

○現状	○課題	○現状	○課題
<p>①道路には人や物の流通に資する幹線道路のほか、住民の生活に密着した生活道路まで種々の形態があります。このうち、子供達が通う学校周辺の道路に道路とすべきで、児童生徒の交通安全に対する考慮を十分に行なうことは、特に児童生徒の交通安全を確保するべきです。</p>	<p>①児童生徒が通う学校周辺道路では、歩行者の安全を確保するべく道路狭窄、蛇行、ハンドブレーキ等の設置等交通誘導を強く望みます。</p>	<p>②首都圏中央連絡道路（圏央道）の青梅IC以南も平成14年3月より開通し、一般国道の遠距離移動の車両通過が少なり我町の中央を通過する国道16号の混雑緩和も図られてきました。</p>	<p>②青梅ICの出口料金所付近には「瑞穂町」の看板表示はあります。本線上のIC案内看板に「瑞穂町」の表示を望みます。</p>

今後の道路行政についての意見・提案  
②-2 地域の目指すべき将来像

首都圏中央連絡道路（圏央道）の整備が進み、我町も含めた多摩西部の物流機能は向上しています。東京都では平成18年12月に「10年後の東京」を策定し、その中で東京都内圏央道沿線をIT関連企業の集積した「多摩シリコンバレー」構想を掲げています。瑞穂町もこれとほぼ同時を同じく、圏央道青梅ICに近い町内元狭山地区に住宅、流通業拠点を含む工業及び商業のバランスの取れた区画整理事業を計画し、圏央道を物流の幹線とした地域の発展を目指しています。

様式 ③  
東京都瑞穂町